

漁況情報 No.17 平成 18 年 10 月 27 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

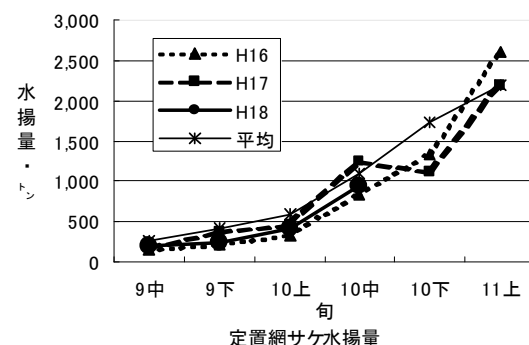
Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

* 本報は当センターホームページ (<http://www.pref.iwate.jp/hp5507/>) に掲載しています。

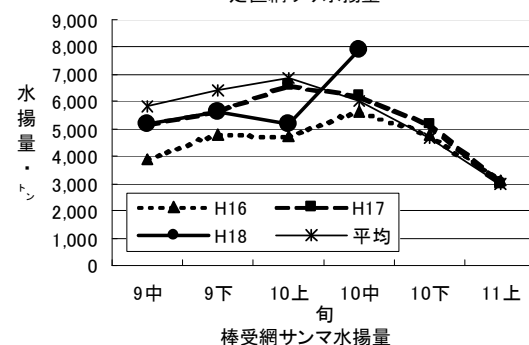
<< トピックス >>
アキサケ(定置網)はやや低調です。
サンマ(棒受網)、ブリ(定置網)は好調です。
スルメイカ(いか釣り)は低調です。

1. 水揚げ状況

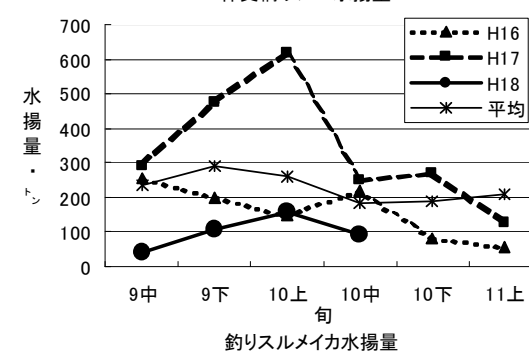
(1) アキサケ(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は938トン(前年の75%)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,088トンで、旬水揚げはその86%でした。年累計は1,853トン(前年の77%)です。



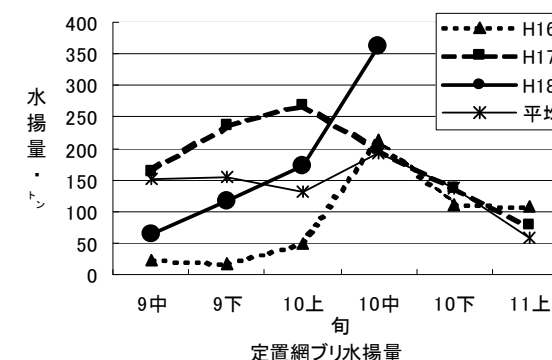
(2) サンマ(棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は7,876トン(前年の1.3倍)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は5,999トンで、旬水揚げはその1.3倍でした。年累計は30,381トン(前年の97%)です。



(3) スルメイカ(いか釣り)は水揚げがまともらず、10月中旬の水揚げ量は94トン(前年の37%)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は185トンで、旬水揚げはその51%でした。年累計は956トン(前年の31%)です。



(4) ブリ(定置網)は大船渡を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は362トン(前年の1.8倍)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は194トンで、旬水揚げはその1.9倍でした。年累計は900トン(前年の48%)です。



* 水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計です。

* 釜石魚市場での水揚げは集計装置の不具合のため、19日までの集計です。

2. 調査結果、その他の情報

(1) ショッコ(ブリ幼魚)精密測定結果

10月中旬に水揚げされたショッコ(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。

体長は36~39cmが主体であり、8月下旬、9月上旬より10cm程度大きくなっていました(図1)。

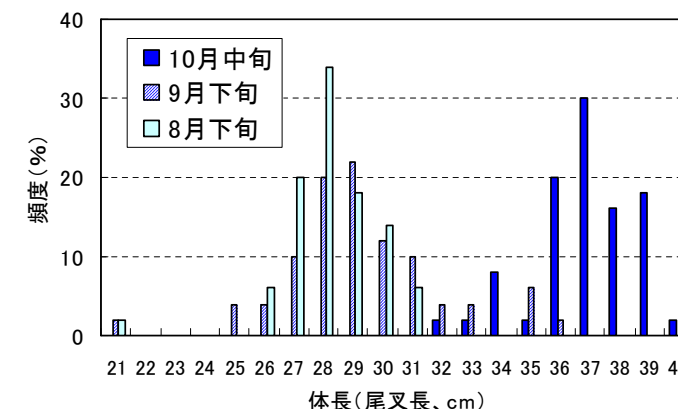


図1 ショッコ体長組成

(2) スルメイカ精密測定結果

10月中旬に水揚げされたスルメイカ(宮古魚市場、底曳網)の精密測定を行いました。

体長は23~24cmが主体であり、9月下旬より1cm程度大きくなっていました(図2)。また、ほとんどの個体が未熟で、成熟していたのはオスの数個体のみでした。

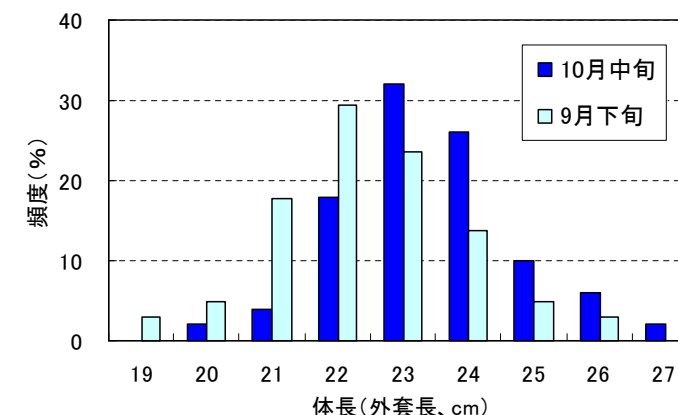


図2 スルメイカ体長組成

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。